

# 奈良県生協連 2016年7月 NO.101



「Peace Now!奈良2016」より(P7)

# 戦争遺跡を巡り、体験者の声を聴く

# Thirties of the second of the

#### もくじ

奈良県生協連 第 27 期通常総会 · · · · · 1	アースデー 2016 i n なら ・・・・・・・・・8
A = 11 11 1 = 11 = 11	
会員生協からの活動報告・・・・・・・・3	3.11を忘れない ・・・・・・・・・・・・・・・9
こども食堂交流会・・・・・・・・5	2016年度第1回生協・行政協議会 /
ことも良星又流云・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2010平反东1四土励·11以励硪云/
おじゃましました~生活クラブ生協の巻・・・6	「食の情報 ウソ・ホント」講演会・・・・10
400でよりよりた。エルノノノエ励り合 0	良V川和 ソフェホント」 神典云 ・・・ IU
Peace Now!奈良2016 ·····7	
I Gace INOW: 示及とUIU /	

(1) 2016年7月号

# 奈良県生協連 第27期通常総会

2016年6月25日(土) 奈良ロイヤルホテル

6月25日(土) 奈良ロイヤルホテルにて奈良県生協連の第27期通常総会を開催しました。日頃からご支援いただいている行政・諸団体の皆さまご臨席のもと、会員生協役職員・組合員80名が参集し、1年間の事業のまとめと新年度の取り組み方針などを確認し交流しました。









奈良県 姫野課長

#### ご臨席いただいた来賓の皆様 ※順不同

○奈良県くらし創造部消費・生活安全課

課長 姫野隆昭様

係長 夏秋智行様

- ○奈良県森林組合連合会会長 山本陽一様
- ○奈良県社会福祉協議会常務理事 竹内輝明様
- ○近畿労働金庫地域共生推進室室長 浦田和久様
- ○奈良県消費生活センター所長 谷 守浩様
- ○NPO法人なら消費者ねっと理事長 北條正崇様
- OTT OBSTASSING THE SCREEN NO.
- ○奈良県地域婦人団体連絡協議会会長 中島祐子様 ○日本生活協同組合連合会関西地連事務局

柳下 剛様

寄せられたメッセージ・祝電…61通

県内協同組合及び関係諸団体 全国の生協、生協連の皆様 ありがとうございました!!

#### 承認された議案

第1号議案:2015年度事業報告・決算関係書類承認の件第2号議案:2016年度事業計画及び予算案決定の件

第3号議案:役員選任の件 第4号議案:役員報酬決定の件 第5号議案:議案決議効力発生の件

開会あいさつで瀧川潔会長は「生協の土台は民主主義。人を大切にする組織として消費者・組合員の声を受け止めた活動を進めていきたい」と述べました。奈良県の姫野隆昭課長からはご祝辞の中で、消費者問題をはじめとする行政との連携への期待の言葉を頂戴しました。また、山本陽一奈良県森林組合連合会会長が県の林業の現状とバイオマス発電など山を守る取り組み紹介、奈良県社会福祉協議会の竹内輝明常務が住民のささえあいによる安心してくらせる地域社会づくりについて、それぞれお話しされ、生協との協同の取り組みの呼びかけがありました。

議長にならコープ代議員の有山富士美さんが選 任されて議事に入り、議案の一括提案の後、会員

生協の活動報告がありました。代議員総数27名中委任を含む全員の出席で採決し、全ての議案が全会一致で採択されました。



森林組合連合会 山本会長



奈良県社協 竹内常務



議長の有山さん

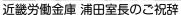
2016年7月号 (2)

# 懇親会では 諸団体。 会員生協が交流



奈良県立大生協の発表







奈良県医療福祉生協の認知症クイズ



労済生協の楽しいクイズ

総会終了後は恒例の懇親会で諸団体の皆さまや会員同士が交流しました。近畿労働金庫地域共生 推進室浦田和久室長はじめ、ご来賓の方々からもご挨拶をいただきました。今年も大学生協の学生 委員が大勢参加し、多世代にわたってお互いの活動についての会話がはずみました。

6月12日に行われた大学生協学生委員の企画『ピースナウ奈良』の活動紹介や、奈良県医療福祉生協の皆さんによる「認知症クイズ」、労済生協の皆さんによるたのしい「全労済クイズ」など工夫を凝らした発表もあり、笑顔あふれる情報交流がすすみました。



(奈良県立大学主協 要村 俊夫さん 要付 俊夫さん



(奈良県立大学生協)小松原 尚さん新任理事

#### 2016 年度の 重点課題

(4) 会員生協の活動交流と連帯をすすめます(2) よりよい地域づくりの活動に参加します。場をつくります。 場をつくります

#### 2016年度 役員体制

選任枠	氏 名	所 属
理事(会長)	瀧川 潔	員外
理事(副会長)	野﨑 敏明	奈良県労働者共済生活協同組合
理事(専務)	辻 由子	市民生活協同組合ならコープ
理事	中野素子	市民生活協同組合ならコープ
理事	小松原 尚	奈良県立大学生活協同組合
理事	柏原 勇介	生活協同組合コープ自然派奈良
理事	加藤 由美	奈良女子大学生活協同組合
理事	石間 奈穂子	奈良教育大学生活協同組合
理事	立石 昭彦	生活クラブ生活協同組合
理事	仲宗根 廸子	奈良県医療福祉生活協同組合
理事	森 宏之	市民生活協同組合ならコープ
理事	山原 縁	奈良工業高等専門学校生活協同組合
監事	稲津 和之	奈良県労働者共済生活協同組合
監事	吉川 英子	市民生活協同組合ならコープ

# 会員生協からの活動報告

#### 奈良県労働者共済生活協同組合 吉成 彰一さん



労済生協は家の保障・生命保障・車の保障といった様々な保障を行っています。 4月の熊本地震の翌日から組合員の被災連絡があり6月23日現在1万9000件を超える連絡がありました。全国から支援に入り被災状況の現場調査を行ってきました。奈良からも4名調査に加わり92パーセント調査が終了し90億円ほどの支払いが済みました。その他主な活動として地震に対する防災・減災への啓発と住まいの点検活動に取り組み、「住まいる共済」を中心に店舗キャンペーンの目標を達成することができました。また夏祭りを開催、地域住民対象に奈良県警の協力を得て自転車の安全シミュレーションを行い、防災減災の情報提供などを約50名に行うことができました。

#### 生活クラブ生活協同組合 甲斐 京子さん



生産者と組合員で作った自前の牛乳利用が減り経営が厳しい状態となっているのを支えることを目的に消費材(消費者が使う立場から開発した商品)の利用結集活動を行いました。目的は達成しましたが今後も飲み続ける利用提案をしていきます。また「遺伝子組み換えって何?」の学習会を食農市民ネットワーク共同代表の河野昌東さんにお越しいただき開催しました。「原発と同じで遺伝子組み換えは見えないから怖いんです」とお話しいただきました。電気の共同購入活動では、各地の生活クラブで出資し生活クラブエナジーを立ち上げ、原発に依存しない再生可能エネルギー100%の社会を目指して利用推進活動を進めていきます。

#### 奈良工業高等専門学校生活協同組合 笹治 拓矢さん・杉谷 唯子さん・辻本 陸大さん



4月の新入生歓迎会は学生会執行部とともに行いました。生協では毎年120人ほどの参加者に食事提供といくつかの企画運営を行っています。春と秋に行っている自転車点検は安全を確認する車検のような印象を与える告知をすることで参加者の減少を食い止めることができ、また昨年に引き続き○×クイズを行い全問正解者にはブラウニーをプレゼントしま

した。通常総会の後に行われる分科会はお客様と営業側の良い意見交換の場となっています。毎年行われている「かき氷企画」「食生活相談会」「タヌロー喫茶」はいずれも目標をこえる参加者があり大成功となりました。この増加傾向を次に引き継げるよう今年度も頑張りたいと思います。

#### 奈良県立大学生活協同組合 **青山 友紀**さん



「大学生協と組合員がお互いに声を聴きあい、大学生活の充実をめざします」という方針に沿った初の試みとして「お互いに声を聴く」ということでグループ討論を実施しました。「国際協力サークルD2」からの提起でTFT(途上国の給食支援プログラム)メニュー利用でルワンダへの支援ができました。「図書推進団体HONYOMI」からの提起ではビブリオバトル(みんなで集まって5分で本の紹介をするルール)を開催し読書のきっかけづくりができ、利用も伸長しました。方針に基づいた協同組合の基本に立ち返ったシンプル活動をすることで組合員の利用が増えたのだと思い

ます。2016年度も小さな生協という利点を生かし顔の見える活動ができたらいいなと思っています。

2016年7月号 (4)

#### 奈良教育大学生活協同組合 福田 聖華さん

2015年の活動方針に沿って活動しました。5月の食生活相談会・自転車点検は、「なきょうさい」の一環で、共済部メンバーを中心に新しい取り組みをしました。大学周辺の事故の危険のある場所を地域の人と協力してチェックし、「ヒヤリマップ」を作成しました。10月から4月にかけて新学期活動として新入生のことを考えた「受験前相談会と下見案内」「入学前相談会」「大学生活説明会」「フレンチフェスティバル」「なにがなんでも早期解決!ここが悩みの相談会」という大きな5つの企画を実施しました。今年度は先輩たちから引き



継いだことを大切にしながら、新しい仲間と新しいことにどんどん挑戦していく一年にしたいと思っています。

#### 奈良女子大学生活協同組合 塩貝 沙耶さん

「組合員の一員として、仲間の声を大切にし、Let's 行動!どんどん実現!」を活動方針にしました。「ひとことアンケート」では、購買の商品やWINDYの企画についての質問にシールを貼って投票してもらいました。「ひとことカード」では、組合員自らの要望や意見を生協に伝えました。これらは生協と組合員のやり取りが目に見える活動になりました。総代会で出された意見から、人と人のつながりが豊かな大学を目指し「七夕まつり」「先輩ゼミ未来講座」「エントランスイブ」開催、オープンキャンパス、新歓企画では



未来の組合員である受験生にWINDYや生協を身近に感じてもらいました。今後も自分たち自身を含めた組合員のよりよい生活を目指して活動していきたいと思います。

#### 生活協同組合コープ自然派奈良 奥 章子さん

「大人の寺子屋、こどもの寺子屋」をテーマに、大人も子どもも考え、学び・体験する 寺子屋のような活動を通して、身体にも、心にも、大地にも幸せの種をまくことを目指し 「ふうど」「つながる」「みらい」という3つのビジョンで活動しました。「ふうど」では 食が命の源であることを学び、ほんものを「選ぶ目」を持った消費者を育てることに取り 組みました。子ども寺子屋では、子どもたちが主体的に食を学ぶイベントを開催しました。 「ふうど」では異文化交流、障害を持つ方と一緒に活動するなど交流が進みました。「み



らい」では地球温暖化、エネルギー問題など学習が進みました。2016年は「大切にしたい」を活動のテーマにさらに活発な活動を展開していきたいと考えています。

#### 市民生活協同組合ならコープ 垣内 恭子さん・藤田 有紀子さん

安心してくらせる地域づくりのために、多様化するライフスタイルに応じて地域にあった取り組みを進めています。コープあったか便移動店舗は2号車の運行を開始しています。運行停留所では自治会の協力を得ながら、地域組合員さんの交流の場ともなっています。夕食宅配は6年目となり、お弁当を介して高齢者への見守りのお手伝いができています。また4月に奈良県と包括協定が締結され、幅広い連携と協力が期待されています。本部事業棟「あ



すならハイツ恋の窪」は協同福祉会と共同運営を行い、地域福祉の拠点となるよう進めていきます。今秋オープンする新店「コープなんごう」は地域に役立つ店舗を目指していきます。

#### 奈良県医療福祉生活協同組合 牧 理恵さん

みみなし診療所の経営改善と奈良市新診療所の開設準備などに取り組み、組合員は5000人を超えましたが、奈良市新診療所開設運動は進めることができませんでした。組合員活動は5委員会となり、健康チェック・健康講座は地域団体からの要請が増えました。手配りボランティア交流会やサロン活動を継続し、ホールの利用者数が年間1925人になりました。2016年は経営改善をすすめ黒字化を目指します。健診の受診率をさらに高め、組合員による健康づくり運動を広げます。また奈良市の新診療所の開設準備を進めていき



ます。創立5周年を迎え「医療福祉生協があってよかった」と言われる組織づくりをしていきます。

(5) 2016年7月号

# こども食堂交流会を開催しました

地域の子どもに料理を無料または安価で提供する「こども食堂」の取り組みは全国で広がり、奈良でも昨年12月から「こども食堂いかるが」で活動が始まっています。

「こども食堂」の運営者や関心のある方に呼びかけ、5月16日ならコープ本部(奈良市)会議室にて、まずは現状を把握し、関心のある人をつなぐ場として「交流会」を開催しました。



こども食堂いかるが代表の小田さん





(左)「大和八木こども食堂」の杉井さん (右)「CODOMO食堂かんまき」の中山さん



すでに活動を始めている団体や、これから始めようとしている団体・個人、食材や場所提供などの支援を模索する生協や行政の方、マスコミなど53名が参加されました。テレビ取材も入り、その日の夜に放映されました。

「こども食堂いかるが」の代表が「いままでは 公民館を借りて土日の昼間に簡単な料理を作って 楽しく食べることをしてきたが、本当に困ってい る子どものために平日の夜に実施し、支援の難し さを感じた。民生委員や行政などと横断的にかか わらないと支援できない。これからこども食堂を

開設される方も、場所 や資金、人材、行政と のかかわり方など課題 は同じ。相談しあえる 場が必要だと思う。」と 語られました。



1回実施した「大和八木こども食堂」や、もうじきプレオープンする「CODOMO食堂かんまき」からも実践報告がありました。

あすなら苑をはじめ県内16か所で高齢者福祉施設を運営する協同福祉会は「サロンなどもすでにあり、すべての施設で場所の提供などの協力はできる」との提案がありました。大学生の学生ボランティアの派遣の可能性や、ならコープから食べられるのに廃棄せざるを得ない食材提供の検討、陶器食器の回収をしているNPOからの食器の提供などの申し出などもありました。直面している課題も出され、県社会福祉協議会や、県のこども家庭支援の担当者や奈良市のボランティア担当者、人権センターなど行政の立場で現状や課題を聞いていただきました。奈良県内でのネットワーク化や相談窓口の要望も出されました。誰かに負担をかけるのではなく、みんなでしていくものだとの参加者の意見もあり、交流の場の重要性が確認されました。その後も行政からの情報提供依頼や、こども食堂が新しく立ち上がったなどの情報もあり、今後に向け、ネットワークづくりが求められています。

2016年7月号 (6

#### \*\* おじゃましました ~生活クラブ生協の巻~

#### ~電気の共同購入に参加しませんか~

2016年4月から電力の小売り自由化が始まりました。

生活クラブ生協は、2016年10月からの「電気の共同購入」の供給を開始されます。「電気の共同購入の学習会」を開催するとお聞きし、4月18日、生駒市のセイセイビルの会場におじゃましました。

米



会場の案内

#### ◆生活クラブ生協のエネルギー 7原則◆

- ①省エネルギーを柱とします。
- ②原発のない社会。CO2を減らせる社会をつくります。
- ③地域への貢献と自然環境に配慮した発電事業をすすめます。
- ④電気の価格や送配電のしくみを明らかにします。
- ⑤生活クラブの提携産地との連携を深め、エネルギーの自給率を高めます。
- ⑥エシカルコンシューマーとして、再生可能エネルギーによる電気を積極的に共同購入します。
- ⑦生産から廃棄までトータルに責任持ちます。

#### 豊かさの中でなくしたものは?

生活クラブ生協主催の組合員さんへの学習と説明の場として開催され、生活クラブ生協組合員および事務局・講師含め23名が参加されました。

講師は石川雅可年さん(生活協同組合エスコープ大阪専務理事/生活クラブエナジー)。 生活クラブエナジーの設立経緯や目指すもの「生活クラブ生協のエネルギー7原則」(左)を話され、いかに現代はエネルギーを多量に消費しているか、豊かさの中で何をなくしたのかなどを振り返りました。



講師の石川さん

### 電気の小売り自由化の伯組みを知るう

関西電力の料金設定に従うことの理由や基本料金の支払いの有無、太陽光パネルの廃棄処理に関する質問が出され、講師の石川さんから回答がありました。男性組合員も参加され、大変熱心に聞いていらっしゃいました。関西圏で5000戸、奈良で190戸分の電気の共同購入を募集されています。

「電気は消費材の一つ。サスティナブル(持続可能)なことと透明性を保つことが重要であることは食べ物と同じ。」と石川さん。電気事業の仕組み(小売り自由化の仕組み、電気供給の考え方、自由化前の電力供給(価格)の仕組み、小売り事業者の役割、購入先を切り替える方法、電気の小売制度)を説明されました。リスクはあるが、再生可能エネルギーをできる限り電源として供給するために、自前電源はもとより木質バイオマス発電によるバックアップ電源の契約なども説明されました。

今までの電力会社以外から、電気を買うこともできるようになりました。電源構成の開示が義務付けられていないので、選択するにはまだ不十分ではありますが、再生可能エネルギーを取り入れている電力会社を選んだり、自分のライフスタイルに合った電気料金プランを選んだり、私たち消費者の選択肢が広がりました。料金やサービスだけでなく、どのような電源を選ぶのかも、私達消費者の選択にかかっています。









#### Peace Now! 奈良2016

平和を考え続けることが平和につながる (後援:奈良県生協連)

2016年6月12日 (日)「Peace Now! 奈良2016」が開催され、 奈良県生協連の3大学の学生委員40名が参加し、平和について考 えました。奈良県立大学生協学生委員の山下桃果さんが、県立大 生協と奈良教育大生協の学生委員4名に呼びかけて実行委員会を立 ち上げ、奈良女子大生協の学生委員も協力して実現した企画です。

#### **会公公汉分约三**—D

(集合:奈良教育大学生協食堂)

9:00 はじまりのはなし

9:05 アイスブレーキング

9:35 ご近所さんの平和ツアー

案内:吉川好胤先生 奈良教育大→奈良ホテル→ 奈良公園→奈良女子大→

奈良県立大

12:30 昼食交流

(奈良県立大生協食堂にて)

13:30 証言者の声:鈴木知英子さん

14:30 ワールドカフェ

(\*ワークショップの形式)

16:00 ポスター作り

17:30 感想交流

18:00 おわりのはなし

県立大で昼食後、構内の地域交流棟に移動して、鈴木知英子さんから戦争体験を聞きました。王寺駅で飛行機から撃たれた鈴木さんの話は、70年以上を経ても大変生々しい記憶でした。5グ



奈良教育大構内に残る 元奈良聯隊の弾薬庫



奈良聯隊跡記念碑 (奈良地方法務局の入り口)

ループに分かれ「ワールドカフェ」形式で、今日感じたことや疑問を共有しました。その後、各大学生協に持ち帰って知らせることができるようにグループで『ポスター作り』。感想交流もあり、夕方6時過ぎまで、熱心に話し合いました。戦争遺跡の案内役を務められた吉川先生からも「大学生たちが真剣に平和について語り合う姿を見て、未来は明るいと感じた」という感想をいただきました。



「なんで奈良でPeace Now!すんの?」 思いを話す山下桃果実行委員長

「平和問題は広島や長崎や沖縄だけの 遠い問題ではない。身近なこととして感 じてほしい」と呼びかけました。

奈良の戦争遺跡に詳しい歴史教育 者協議会会員の吉川好胤先生のご案 内で、日頃見落としている戦争遺跡 を回り、戦争や平和について真剣に 考えました。



奈良女子大構内に残る奉安殿。天皇皇 后の写真と教育勅語が納められていた



戦争体験を語る鈴木知英子さん



つくった「ポスター」を説明する学生たち

同行した私たちも日頃気づかなかった史実を知ることができました。直接伝えられる最後の世代として、暗く重たいテーマを、若者の視点で同世代に伝えようとする真剣な姿に勇気をもらいました。

2016年7月号

# OBTES BUTES TO

地球環境を考える日として27回目となった「アースデー 2016in なら」が、 4月24日国営飛鳥歴史公園石舞台地区で開催されました。ならコープ主催、奈 良県生協連共催で今年のテーマは「地球にエエコトー緒にしようや!」会場で は「吉野共生プロジェクト | 「菜の花エコプロジェクト | 「ならコープ環境政策 | 「ならコープエネルギー政策」の紹介など49団体(行政6、環境団体12他)が出 店しました。また地産地消の商品販売、フリーマーケット、体験コーナーなど があり、天候にも恵まれ、一般観光客も含め約2,000名が参加されました。また、 昨年に引き続き「奈良県医療福祉生協」の血圧測定、体脂肪測定など健康チェ



ックが行われ、奈良県生協連と進め ている「いつでも健康チャレンジ」 に多くの参加者がありました。

同日、奈良公園登大路地一帯で、10回目となる「アー スデー奈良2016」~種をまこう~(アースデー奈良2016 実行委員会主催)が開催されコープ自然派などが参加、 好天に恵まれ多くの参加者がありました。



## 「第16回 全国菜の花サミットinやまと」 が開催されました。

4月9日 (土) ~ 10日 (日)、桜井市民会館をメイン会場に、第16回全国菜の花サミット i n やまとが開催され、全国から菜の花プロジェクトを進める団体やならコープをはじめ、県内の 環境保全活動団体・NPOが集まりました。奈良県生協連は、広告やパネル展示で協力し、広 報紙「奈良県の生協」で会員生協の活動を紹介しました。

9日の開会セレモニーでは、雅楽演奏や、「やまと菜の花マラソン」としてならコープはじめ県内 の11団体の取り組み報告がありました。薬師寺管主の山田法胤氏による基調講演や、藤井絢子氏(菜 の花プロジェクトネットワーク) のコーディネーターで、大石正氏(やまと菜の花ねっと)、岩本廣 美氏(奈良教育大学)、オオニシ恭子氏(やまと薬膳いってん)、藤村コノエ氏(環境文明21)の パネルディスカッションがありました。持続可能な開発のための教育を推進し、菜の花プロジェク トを通じて環境負荷の少ない持続可能な社会の実現に向けて多くの団体と協力していくことなどを 掲げる「サミット宣言」を採択しました。来年度は福島県南相馬市で開催される予定です。翌日は 奈良教育大学や、桜井市、葛城市でテーマ別に分科会が開催されました。



会場には菜の花が飾られました



メイン会場で報告するならコープ



2016年6月5日

# 311 容量机论的。。

#### みやぎ生協から被災地・宮城のいまをお伝えします

#### ~ひとの復興~

#### 被災者であり支援者でもある被災自治体職員の心のケア

災害で住民支援の「公助」を担うのは自治体の行政職員です。東日本大震災でも、職員は自身が被災するなか住民の避難生活のために不眠不休で働きました。直後の混乱を乗り越えた後は復旧復興に伴う業務に忙殺される日々が続きました。

被災者でありながら支援者でもある行政職員の苛酷な状況は、心身の不調や自死のリスク増につながるとの指摘があります。(社)宮城県精神保健福祉協会「みやぎ心のケアセンター」はこれを踏まえ、被災者への支援と同時に行政職員など"支援者への支援"を行なっています。

同協会気仙沼地域センターの片柳光昭さんは「多くの行政職員は少なからず被災をしているが、行政職としての役割を果たさなければならないという使命感も強く、そこで葛藤が生まれ、心身の不調に繋がることもある」と言います。支援者として住民の不安や苛立ちを正面から受け止めるのですが、そのことが継続することでストレスとなって蓄積されてしまう場合があります。地域住民のみならず行政職員の中でも、サバイバーズギルト(生き残った罪悪感)にとらわれて健康状態を悪化させる人、本音を吐けない人や最近になってようやく被災体験を話せるようになった人もいます。センターでは丁寧なケアを重ね、精神的な健康の回復に導いたり、休職していれば復職へとつないだりしています。

5年経ち、阪神・淡路大震災や新潟県中越大震災には無かった課題も見えてきました。「これほど復興が長期にわたる震災は今回が初めてです。震災後7年、8年と続くと予測される復興業務の過程で精神的な疲弊がどう進んでいくのか気になります」。また片柳さんは、今後入職する若い行政職員にも注意を向けています。「彼らは行政職として震災対応を経験していません。復興業務にあたったときどうストレスを感じていくのか、他自治体からの応援職員へのケアも含めてしっかりサポートしていかなければなりません」。

被災自治体の人手不足は復興のピークを迎えたいまも解消されず、行政職員には過重な負荷がかかっています。「支援者が健康でない限り十分な被災者支援はできない」という考えは阪神・淡路大震災の大切な教訓です。それは熊本地震でも同様でしょう。被災自治体職員の心のケアは被災地が「ひとの復興」

を果たしていくための重要な課題なのです。

情報提供/みやぎ生協



(社) 宮城県精神保健福祉協会みやぎ心のケアセンター「気仙沼地域センター」の皆さん。気仙沼市と南三陸町で定期的に職員向けの相談会を設けています。中央が片柳光昭さん



災害公営住宅の建設や道路建設、用地買収など復興業 務は今後も続きます。気仙沼市内湾地区に建設中の災 害公営住宅

4月に熊本県を中心に発生しました一連の地震により、一瞬にして、尊い生命や家屋などの貴重な財産を奪われ、 甚大な被害をもたらしました。地震により尊い命を落とされた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被 災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。そして被災地の一日も早い復旧復興を心よりお祈り申し上げます。

2016年7月号 (10)

#### 2016年度 第1回 生協・行政協議会を開催しました 5月12日(木) 奈良県文化会館

2016年度第1回の生協・行政協議会を開催しました。協議会は毎年度2回奈良県消費・生活安全課と奈良県生協連役員とが意見交換を行う場としていますが、今回は奈良県からは姫野隆昭課長はじめ3名の方が出席され、奈良県生協連の役職員合わせ16名で懇談しました。



はじめに今年度の奈良県行政の推進体制や取り組み状況について説明があり、つづいて3月に策定された奈良県消費者教育推進計画について詳細な説明をいただきました。

奈良県生協連からは16年度方針を説明しそのあと意見交換を行いました。とくに消費者教育の推進については双方ともに関心ごとでもあり、「当計画が策定されたことで、これまでむずかしかった教育現場との連携が実現するように期待している」、「若者たちへの意識啓発・発信と同時に若者自身によるツール開発などのアクティブなかかわり方などについても考えてはどうか」など、活発な質疑や意見が出されました。

#### NPO法人なら消費者ねっと総会記念学習会 6月4日(土)奈良県文化会館

#### 高橋久仁子先生講演会

# 『国の電部 のいの記》とりが開催 されました

食べ物や栄養が与える健康への影響を過大評価する「フードファディズム」の研究で著名な群馬大学名誉教授の高橋久仁子先生の学習講演会が6月4日(土)、奈良県文化会館で開催されました。この講演会は総会記念学習会としてNPO法人なら消費者ねっとが主催、奈良県と奈良県生協連が共催、奈良市の後援で行われました。



会場には61名の消費者が集まり、熱心に高橋先生の話に耳を傾けました。高橋先生は、現在巷に氾濫している食と健康に関する過大な広告宣伝に具体的なメスを入れながら、「キャッチコピーは行間を読んではいけない」「健康食品で健康は買えません。これさえあればOK、という食品などありません」と、私たちがともすれば信じてしまいそうな情報の落とし穴を警告されました。そして、「健康な食生活の基本は、必要な栄養素を過不足なく摂取すること」であり、消費者自身の情報の見極めとバランスの良い食生活の大切さを強調されました。参加者からは、「色々なサプリメントに毎日動かされることが多かったので、その内容がよく



高橋久仁子先生

わかり、食事をしっかりとりたい。」「宣伝広告に惑わされて商品を購入している自分に気づいた。」などの感想が寄せられました。

また、本年3月に策定された「奈良県消費者教育推進計画」について奈良県くらし創造部消費・生活安全 課の勝井康晴主幹から説明がありました。奈良県では高齢者のトラブルが多発していますが相談窓口の認知 度は低く、教育の現場でも消費者教育の教材が少ないなどの悩みがあります。これらの現状を踏まえ、市町 村や学校、消費者団体等の連携協働により消費者教育を体系的総合的に進めるために3年間の計画として策 定されました。この計画の推進により今後の学習や啓発の場がますます活発になっていくことが期待されます。

#### 県連日誌

#### 4月

4日 新年度県庁訪問

7日 日本生協連関西地連運営委 員会

7日 日本生協連地区別議案検討

9日~ 全国菜の花サミット i n 10日 やまと

19日 吉野共生プロジェクト 24日 アースデー 2016

#### 5月

9日 2015年度監事監査及び代表 理事との懇談

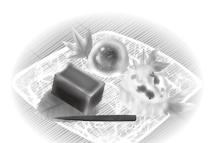
12日 奈良県生協連第7回理事会

12日 第1回生協・行政協議会

14日 なら元気シニアフェスタ

16日「こども食堂」交流会

26日 福島県連第36回通常総会



#### 6月

安保法制廃止と立憲主義回 3日 復を求める市民運動と連帯 する生協集会

4日 N P O法人なら消費者ねっ と第1回通常総会

12日 ピースナウなら

全国生協組合員憲法9条を 16日 考えるネットワーク世話 人会

17日 日本生協連第66回通常総会

25日 奈良県生協連第27期通常総会

25日 第1回理事会

#### ピースアクションin なら2016

#### わたしたちの未来への選択! 核兵器のない平和な世界

〇日 時:9月17日(土) 14:00~16:30

○会 場:奈良県社会福祉総合センター 5階大会議室(定員100名)

○参加対象:生協の組合員と役職員、一般県民

○講演:「核兵器をめぐる現状と次世代へのアプローチ」

講師:中村 桂子氏(長崎大学核兵器廃絶研究センター准教授)

○リレートーク:未来を選択するのはわたしたち自身です。

核兵器廃絶に向けて、登壇者がそれぞれの想いをリレー形式で語ります。

○主 催:奈良県生活協同組合連合会・ピースアクションをすすめる会

○後 援:奈良県、橿原市

てき 暑い夏がやってきます。 実感する熱帯夜の日々です。 えました。 気が付け 0 たってしまっ 成長し花を咲かせ、 なってきまし の数年でエアコン る 屋 つ 早くも寝苦し 明け方は寒いくらいだった てきます。 年も半分が終 ゅうりも植えてい 庭 蛙の声を聴きながら ので風通し は ではグ しない方法は何かな 道を隔てて農水路 ば ij お 正 猛暑となる今夏、 たの 夕方涼しくなっ 季節。 月 0) わ の助 力 胡 温 です か 蝶蘭 楽しみが 暖 ま 寝れば 窓を開 寝てい 暑 テン ね。 化 け が が 進 が 流 また 行 か 夏 元 れ 由